

忠恕の精神を胸に

はんの木だより

2018年4月

第69号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176(62)2761

平成三十年度辞令交付式行われる

美土里会

平成三十年四月三日、平成三十年度辞令交付式が行われました。今年度は県立七戸高等学校、三本木農業高等学校から新職員二名が新たな仲間となりました。新人・正採用職員・異動職員へ、盛田薫総合施設長から辞令が手渡されると、皆一様に引き締めた表情をしていました。

次いで永年勤続表彰が行われ、美土里会勤続十五年以上の職員三名が表彰されました。

辞令交付式に引き続き、今年度初の職員全体会議を開催しました。会の冒頭、盛田薫総合施設長が法人理念について説明。釈迦・キリストと並ぶ世界三大聖人の一人であり、儒教の創始者でもある孔子の教えをまと



めたものが『論語』です。そこに出て来る『忠恕(ちゅうじょ)』という言葉が、美土里会の理念です。忠恕の意味は、簡単に言えば『誠実で思いやりがあること』。上つ面ではなく心からの誠実さ、心から相手を思いやることです。その精神で仕事に向かって頂きたいと思います。この話があり、新人・ベテラン職員とも、自らの役割・仕事は何なのかと顧み、気持ちを新たにしたい様子でした。

近年、社会福祉法人の役割が問われています。公益活動や地域貢献が求められている今、私たち職員の使命は何なのか、法人理念の忠恕の精神に則って考えて行動したいと思っています。

今年度もご利用者視点を忘れず、安心・安全なケアの提供を心がけます。今年度も、宜しくお願いいたします。

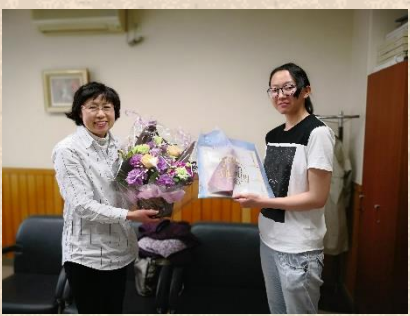
長い間お疲れ様でした



春は新生活が始まる時期ですが、別れの季節でもあります。平成三十年三月末日で、野田眞里子総括主任介護職員が退職されました。野田頭総括主任は三十年の長きに渡って美土里会に勤めて頂き、介護現場の第一線で活躍した、まさに地域福祉・現場主義を体現した方でした。三月三十日にお別れ会にて花束の贈呈を行い、野田頭総括主任よりご利用者へタオルを寄贈、並びに美土里会に寄付を頂きました。

また、青森県立七戸高等学校の福祉健康系列の指導教員であった小野敦美先生が県立黒石高校へ転勤となりました。七戸高校では質の高い介護教育を行っており、美土里会では実習生を受け入れ、毎年のように生徒が就職して下さるなど、非常に結びつきが強い学校です。これもひとえに、十四年間も勤務された小野先生の指導あつての事だと、深く感謝しています。

三月二十九日、転勤の挨拶に来られた小野先生に、美土里会の七高卒業職員一同から寄せ書きと記念品を進呈しました。お二人のこれからの活躍をお祈りします。お疲れさまでした。



新人職員紹介

新年度、新たに二人が新採用となりました！昨年度、中途採用された方と併せて三名をご紹介します。

- ① 生年月日 ② 血液型 ③ 足のサイズ
- ④ 趣味・特技 ⑤ 好きな芸能人 ⑥ 好きな食べ物
- ⑦ 嫌いな食べ物 ⑧ 自分の好きなところ
- ⑨ 嫌いなところ ⑩ 美土里会の第一印象
- ⑪ これからの意気込み

美土里会デイサービスセンター 梓

介護職員

竹ヶ原 菜那(たけがはら なな)



- ① 一九九九年六月四日 ② A型 ③ 24.5センチ
- ④ 手芸・料理・お菓子作り ⑤ 窪田正孝、佐藤健、菅田将暉、瀬戸康史、坂口健太郎 ⑥ カレライス ⑦ 魚介類、トマト ⑧ 元気で明るいところ！ ⑨ 人見知りなところ… ⑩ 優しい雰囲気と明るい笑顔でご利用者に対応しているのが素敵だと思いました ⑪ 仕事の内容とご利用者の名前を覚えるように頑張ります！

特別養護老人ホーム美土里荘

介護職員

鶴ヶ崎 莉帆(つるがさき りほ)



- ① 一九九九年四月一三日 ② O型 ③ 24.5センチ
- ④ スキー ⑤ 山崎賢人 ⑥ パスタ ⑦ おもち、きのこ ⑧ 手が大きい ⑨ 足が短い ⑩ 明るい、元気な施設だと思いました ⑪ 早く仕事に慣れるよう一生懸命頑張ります！

特別養護老人ホーム美土里荘

看護職員

向井 和子(むかい かずこ)



- ① 不明！ ② O型 ③ 23.0センチ ④ グルメ、スキー、ライブ ⑤ 福山雅治 ⑥ いちご、焼き魚 ⑦ ピーマン、セロリ、パクチー等々 ⑧ 天然 ⑨ せっかち ⑩ ホットな所だなあ ⑪ のんびりとお年寄りに寄り添い過ごしたいと思っています。

これからの活躍を期待します。
頑張ってくださいね！

事業所通信

特別養護老人ホーム美土里荘

三月十四日、供養会が行われました。年度内に亡くなられたサービス利用者の方々のご冥福を祈るために、毎年開催されているもので、今年も七戸町内の青岩寺から青山晃淳住職にお越しいただきました。祭壇が組まれ厳かな雰囲気の中、読経が始まると、集まったご利用者・職員は静かに手を合わせ物故者へ想いを馳せていたようでした。



その後、青山住職より講話がありました。住職が「亡くなった方やご先祖様に手を合わせることは、亡くなった方を思い出し、感謝し、そして生きている者が 100%の道を一生涯懸命進むのを見守っていて下さい」と伝えて誓いを新たにしている意味があります」と話されると、うんうんと頷かれるご利用者・職員も。含蓄のあるお話を聴き、皆さん感じ入るところがあったようです。



供養会が終わった後も、祭壇の前に並んで、一人ずつ拝んだりお焼香をされているご利用者が多かったのが印象的でした。
参加されたご利用者からは「手を合わせられて良かった」との声が聴かれました。亡くなられた方を想う気持ちには、どんな人でも持っているものです。その気持ちを尊重し、これからも供養会の機会を設けたいと思います。

デイサービスセンター様

二月一日から七日、節分にちなんだ鬼退治ゲームを行いました。ご利用者がめいめいに鬼の口にお手玉を入れ、笑いの絶えないゲームとなりました。皆さん一生懸命頑張ってプレイし、「腕が痛くて上がらない」と話す方もいたほどでした。

また、三月四日から十日、ひな祭りにちなんで桜もちをご利用者と一緒に作りました。桜もちの皮を焼いたり、あんこを丸める方、皮にあんこを包み桜の葉を巻く方など、全員が役割を持ち、上手に作っていました。



特別養護老人ホーム美土里荘（栄養士）



二月二日、東北町小川原湖交流センター宝湖館にて、中部上北広域シルバー人材センター委託事業の「料理講習会」を開催しました。今回のテーマは「ベジブロス野菜だし」という事で、メニューは「ベジブロスご飯、セロリのふりかけ、ブイヤベース、ベジブロスの卵焼き、セリのおひたし、りんごゼリー」。ほぼ全ての料理にベジブロスを使用しました。



ベジブロスとは、ベジタブル（野菜）＋ブロス（だし）の略。野菜の皮や種、へたをコトコト煮込むことで、フアイトケミカルが溶け出し、栄養満点のだしがで上がります。ファイトケミカルは植物に含まれる天然の化学物質で、免疫力を高めたり、活性酸素の発生を抑えて高酸化力を高めたりする健康効果があります。短命県返上、だし活がうたわれている青森県。皆さんもベジブロス料理を作ってみてはいかがでしょうか？

美土里会

四月十日、美土里会前の道路清掃を行いました。社会・地域貢献活動の一環として毎年行っているもので、この日も各事業所から数名ずつ参加し、沿道のゴミ拾いを行いました。美土里会前の国道三九四号線が国道四号線バイパスとぶつかるまでの往復約三キロ程度でしたが、取りも取った四十五リットル袋十五袋以上！空缶や燃えるゴミの他、中にはフライパンや漬物が入ったビンなど、ごみから来たんだらう...と思う物も。その量と中身に、参加職員一同驚きながらも、少し悲しい気持ちにもなりました。これからも、地域の皆さんが気持ちよく過ごせるよう、環境整備に努めたいと思います。



職員コラム

毎回好評(?)を頂いているこのコーナー。今回は、在宅サービスをコーディネートしてくれるケアマネジャー、そしてグループホームで活躍する介護職員の二名をご紹介します。

美土里荘居宅介護支援事業所 管理者（介護支援専門員）
手代森 真純（てしろもり まさみ）



平成八年から美土里会に勤めており、気が付けば二十二年の月日が経ってしまいました。介護や福祉系について無知の状態からのスタートでしたが、順調に介護福祉士・介護支援専門員・福祉住環境コーディネーターの資格を得ることができました。初めの一年はデイサービスに勤務し、その後は平成十六年まで特養で介護職員として勤務、産休明けの平成十七年から現在の居宅介護支援事業所に勤務し現在に至ります。これといった趣味はありませんが、中学生の娘と韓国のヒップホップアイドルのMVを見て歳甲斐もなくキョーキョーはしゃいだり、小学生の息子とプロ野球や新日本プロレスを見て楽しんでます。今は少し子供優先の生活ですが、子育てが落ち着いたら、更に仕事に力を注ぎたいと思っています。これからもどうぞよろしく願います。

美土里荘グループホーム 介護職員
藤田 美樹（ふじた みき）



美土里荘グループホーム 勤務させて頂いている藤田です。
美土里会には高校生の時からお世話になり今に至ります。若いころは全く思いがせんでしたが、年齢を重ね、一年一年経つのはとても早い！と実感中の日々です。
子どももいつの間にか小学生になっていて、赤ちゃんだった頃の事は殆ど覚えていません。
仕事は大変な事も悩むことも沢山ありますが、仲間が助けられ、笑わせてもらって頑張れています。デスクワークよりも動いている方が好きです。足の浮腫みと日々戦っていますが、これからも利用者様が一日でも多く笑顔で過ごせるようサポートしていけたらと思っています。

施設来訪の際など、お気軽にお声がけ下さい！

編集後記

広報委員会に携わり、あつという間の一年でした。新聞の記事探しや工程等初めての経験でした。さて四月といえば桜ですが、新聞が発行する頃には見ごろを迎えているのではないかと思います。桜の花言葉は「精神の美」「優美な女性」。私もそうなりたと思います（天）

